岡三証券グループ
OKASAN SECURITIES GROUP

株主のみなさまへ

第84期 ご報告（2021年4月1日～2022年3月31日）

株式会社 岡三証券グループ

会社概要（2022年6月29日現在）

商　　号	株式会社岡三証券グループ (OKASAN SECURITIES GROUP INC.)
所　在　地	東京都中央区日本橋一丁目17番6号
創　　業	1923年4月4日
設　　立	1944年8月25日
資　本　金	18,589,682,639円
従 業 員 数	3,609名 (第84期連結ベース)
上場金融商品取引所	東京・名古屋証券取引所

本社

室町本社

目　次

株主のみなさまへ …… 1
中期経営計画 …… 2
岡三トピックス …… 4
サステナビリティ …… 6
連結財務諸表（要約） …… 7
株式の状況・株主メモ …… 8
定時株主総会のご報告 …… 9

株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた方々に謹んでお見舞い申しあげます。

さて、第84期のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申しあげます。

当年度においては、引き続き慎重な対応を迫られた新型コロナウイルス感染症のほか、ウクライナ情勢など歴史的な転換点とも言える大きな外部環境変化のなかにあって、将来にわたり事業基盤をより強固なものとするための改革施策を推進いたしました。

中核子会社の岡三証券においては、マーケティング起点の営業改革や、商品開発体制の強化等を目的としたプロダクト・ソリューション部門の新設、お客さまとの接点拡充に向けた店舗戦略など、多様なお客さまニーズに応えるための体制づくりを推進いたしました。また、岡三証券と岡三オンライン証券の経営統合を完了し、対面とネットの融合による新たな付加価値提供に向けた取り組みを進めました。

さらに、事業領域によってグループの枠を超えた連携により成長を目指す「自前主義からの脱却」を推進しており、当年3月にはクラウドファンディング事業会社との資本業務提携や、パートナー企業数社との協業によるデジタル証券ビジネスへの参入を決定したほか、5月にはインターネット総合金融企業との間で岡三アセットマネジメントの合弁会社化について基本合意いたしました。

わが国の証券ビジネスは、手数料の構造変化や急速なデジタルシフトなどによりビジネスモデルの在り方が変容しつつある一方で、個人金融資産の動向に目を向けると、新たな投資家と新たな資金の流入による成長ポテンシャルは高いと考えます。当社といたしましては、お客さま一人ひとりのニーズに合ったサービスを提供するOne to Oneマーケティングの実現に加え、グループリソースの活用と自前主義からの脱却によるプラットフォーム戦略の強化を図るとともに、人材投資についても積極的に推進し、競争力を高めてまいります。

来る2023年4月に迎える創業100周年を、将来を見据えた拡大成長戦略における新たなスタート地点と位置づけ、中長期的な企業価値の向上に努めてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては今後もなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

2022年6月

取締役社長
新芝宏之

岡三証券グループ　中期経営計画

対象期間： 2020年4月から2023年3月までの3年間

経営哲学： 「お客さま大事」

存在意義： 「証券のプロフェッショナルとして、最適な資産運用サービスを提供し、お客さまの資産形成に貢献する。」

社会的使命：
- »お客さまに対して：お客さまの利益に資するため、投資アドバイスのプロフェッショナル集団となります
- »社員に対して：社員の働きがいに資するため、より一層「誇り」を持てる会社となります
- »株主さまに対して：株主さまの期待に応えるため、企業価値を高めます
- »地域社会に対して：地域社会の発展に資するため、付加価値を提供します

基本方針：

お客さま本位のサービス提供	シェアードバリューの創出	デジタライゼーションへの取り組み
お客さま目線のサービス提供により、岡三流のお客さま本位を徹底します	グループリソースのプラットフォーム化による新たな収益源の創出、コスト効率化を図ります	テクノロジーの活用によるサービス革新、新たな価値の提供に取り組みます

定量目標： ROE：10%、口座数：100万口座、預り資産：10兆円（2023年3月末）

2023年4月に創業100周年を迎えるにあたり、100周年以降も持続的な成長を実現するための礎を構築します。

中期経営計画　2年目の取り組みと進捗

計画2年目にあたる当年度も引き続き、中期経営計画の3つの基本方針に沿って企業価値の向上に努めてまいりました。

<お客さま本位のサービス提供>
- グループ証券各社においてお客さま体験価値（CX）向上に努め、中核の岡三証券では多様化するお客さまニーズに応えるためマーケティング起点の営業組織改革を実施し、商品開発体制の強化等を目的にプロダクト・ソリューション部門を新設しました。また、お客さまに近いエリアでのより細やかな営業活動によってお客さまとの接点を拡充するため、統合拠点を開設しつつ、その周辺地域にサテライト拠点を展開しました。

<シェアードバリューの創出>
- 岡三証券と岡三オンライン証券の経営統合が完了いたしました。岡三証券における新たなカンパニーとして誕生した「岡三オンライン証券カンパニー」では、丸三証券からのインターネット取引事業の譲り受けや、クラウドファンディング事業大手との提携を発表しました。
- 証券ジャパンでは、ゴールベースアプローチ型ラップサービスの導入について決定しました。資産形成・資産運用サービスのプラットフォームとして、契約IFAや地域金融機関などへの提供を目指します。

<デジタライゼーションへの取り組み>
- デジタル証券ビジネスへの参入を発表し、準備会社の設立や協業先との連携に着手しました。デジタルシフト時代にふさわしい商品・サービスの開発と提供に向けた体制の構築を加速してまいります。

直近10年間のROE推移

（単位：%）

グループ預り資産および口座数の推移

岡三証券と岡三オンライン証券が経営統合

対面とネットの融合による新たな付加価値をご提供してまいります。

2022年1月、子会社の岡三証券と岡三オンライン証券の2社が経営統合、岡三オンライン証券は岡三証券におけるダイレクトビジネス部門「岡三オンライン証券カンパニー」（以下、岡三オンライン）としてスタートしました。

岡三オンラインの先進性、デジタル分野との親和性を活かし、同3月に新たに暗号資産CFDの取り扱いを開始。オンラインサービスならではの商品ラインアップを拡充しました。そして新たな投資家、新たな資金の導入を目指し、クラウドファンディング事業大手「株式会社FUNDINNO」と提携したほか、丸三証券より同社のインターネット専用取引口座「マルサントレード」等を譲り受けすることを発表しました。今後もオンラインチャネルを活用しグループの事業基盤を拡充してまいります。

岡三証券、店舗戦略を推進

「東京中央店」開設、サテライトプレイス拡充。

岡三証券は2022年3月、首都圏2拠点目の統合拠点「東京中央店」（東京都新宿区）を開設しました。

東京中央店は、新宿、渋谷、碑文谷の各支店を統合した拠点です。

お客さまにより近いエリアには東京中央店のサテライト拠点として、三鷹、千歳烏山、三軒茶屋、自由が丘、碑文谷の5つのサテライトプレイスを開設しました。

2021年6月に開設した「日本橋室町本店」とともに、首都圏における戦略的拠点として支店間ならびに本社機能との連携強化や、拠点網拡充による一層細やかな営業活動を通じて、お客さま体験価値（CX）の向上を図ってまいります。

三軒茶屋サテライトプレイス

OKASAN TOPICS 岡三トピックス

証券ジャパン、ゴールベースアプローチ型サービス導入

お客さまの資産形成に貢献してまいります。

本サービスの基本的なスキーム

証券ジャパンは、2022年内を目途にゴールベースアプローチ型ラップサービスの提供を開始することを発表しました。お客さまの資産形成ニーズの高まりやお客さま本位の業務運営を一層推進するため、これまで以上にお一人おひとりのライフプランに寄り添った資産運用アドバイスが不可欠であり、長期的な目標（ゴール）の実現に向けたコンサルティングサービスをご提供してまいります。

また、証券ジャパンの有する多様なネットワークを活用し、IFA（金融商品仲介業者）、地域金融機関および地域証券会社に対しても、資産形成・資産運用サービスのプラットフォームとして本サービスを提供する予定です。

岡三アセットマネジメント、運用ファンドが最優秀賞を受賞

運用パフォーマンスのさらなる向上に努めてまいります。

岡三アセットマネジメントでは、2022年3月、「リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2022」におきまして、同社が運用するファンドが最優秀ファンド賞を受賞いたしました。また、同4月には「R&Iファンド大賞2022」におきましても最優秀ファンド賞を受賞いたしました。

岡三アセットマネジメントは今後も、運用成績の向上を通じたお客さま満足度の向上に努めてまいります。

リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2022　最優秀ファンド賞

ファンド名	部門	評価期間	分類名
ワールド・リート・セレクション（米国）（1年決算型）	投資信託	3年	株式型　業種別　不動産業　北米
米国連続増配成長株オープン	投資信託	3年	株式型　米国　インカム
米国連続増配成長株オープン	投資信託	5年	株式型　米国　インカム

R&Iファンド大賞2022　最優秀ファンド賞

ファンド名	部門	カテゴリー
日本ニューテクノロジー・オープン	投資信託10年	国内株式グロース
日本ニューテクノロジー・オープン	投資信託	国内株式グロース
米国連続増配成長株オープン/ 米国連続増配成長株オープン（3ヵ月決算型）	投資信託	北米株式高配当
ワールド・リート・セレクション（米国）	投資信託	北米REIT

当社グループでは、社会の持続的な成長に貢献することを社会的存在価値と捉え、ステークホルダーのみなさまとのつながりを大切にしながら、社会・地域・当社グループの持続的な発展に向けて事業を通じた取り組みをおこなっております。

ダイバーシティ推進の取り組み

岡三証券グループでは、多様性を促進するため管理職における女性比率や男性育児休業取得率などの指標を定めたほか、多様な社員が活躍する環境のさらなる整備を図るべく「ダイバーシティ推進プロジェクトグループ」を設置しました。

具体的な施策として、エリア総合職（地域限定）の管理職への登用や「無意識のバイアス（思い込み・偏見）」に関する研修を開始しました。

当社グループで働く社員一人ひとりが能力を最大限発揮できる職場づくりに一段と取り組み、持続的な成長を目指してまいります。

多様性促進のためのKPI（重要評価指標）

KPI項目	2025年4月目標値	2030年4月目標値
①管理職における女性比率	20%	30%
②男性育児休業取得率	100%	100%
③年次有給休暇取得率	70%	70%

TCFDへの対応

岡三証券グループでは、気候変動への対応を経営の重要課題のひとつと位置づけています。

今年2月にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同を表明し、気候変動に係るリスクおよび収益機会が当社の事業活動や収益等に与える影響について、必要なデータの収集と分析を実施し、それらの結果にもとづき開示をおこないました。

引き続き、気候変動に関する取り組みや情報開示の強化を図ってまいります。

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	前年度（2021年3月31日）	当年度（2022年3月31日）
資産の部		
流動資産	689,017	735,086
固定資産	94,422	81,480
資産合計	783,440	816,567
負債の部		
流動負債	560,375	595,610
固定負債	31,523	29,855
特別法上の準備金	1,237	1,241
負債合計	593,136	626,706
純資産の部		
株主資本	152,512	159,689
その他の包括利益累計額	15,420	8,179
新株予約権	422	463
非支配株主持分	21,948	21,528
純資産合計	190,304	189,860
負債・純資産合計	783,440	816,567

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	前年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）	当年度（自2021年4月1日 至2022年3月31日）
営業収益	67,259	73,778
受入手数料	43,850	46,598
トレーディング損益	20,767	24,021
金融収益	1,723	2,180
その他の営業収益	918	978
金融費用	1,150	1,180
純営業収益	66,109	72,597
販売費・一般管理費	61,002	67,621
営業利益	5,106	4,976
営業外収益	2,499	2,118
営業外費用	178	195
経常利益	7,426	6,898
特別利益	7,220	9,679
特別損失	6,473	1,223
税金等調整前当期純利益	8,174	15,354
法人税等合計	1,837	4,254
当期純利益	6,336	11,100
非支配株主に帰属する当期純利益	319	1,027
親会社株主に帰属する当期純利益	6,017	10,073

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

決算のポイント

当年度における当社グループの営業収益は、前年度比9.7％増の737億78百万円となりました。また、純営業収益は同9.8％増の725億97百万円となりました。

国内外株式関連の委託手数料が減少した一方、投資信託関連の受入手数料が増加し、外国株式トレーディング損益とともに収益をけん引しました。

販売費・一般管理費は、人件費や事務費の増加などにより、前年度比10.8％増の676億21百万円となりました。また、特別利益は投資有価証券売却益の計上などにより96億79百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年度比7.1％減の68億98百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同67.4％増の100億73百万円となりました。

株式の状況・株主メモ（2022年3月31日現在）

株式の状況

発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式の総数	208,214,969株
株主数	29,309名

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,942	9.96
日本生命保険相互会社	9,732	4.86
農林中央金庫	9,700	4.85
三井住友信託銀行株式会社	8,726	4.36
大同生命保険株式会社	8,660	4.33
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.91
有限会社藤精	5,266	2.63
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,949	2.47
株式会社りそな銀行	4,937	2.47
株式会社みずほ銀行	4,925	2.46

※当社は、自己株式8,059,204株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告（当社ホームページに掲載） https://www.okasan.jp ※やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031 （平日9：00～17：00／土・日・休日を除く）
（URL）	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

株式に関する住所変更等のお手続についてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座をご利用されていない（特別口座に株式のある）株主さまは、上記電話照会先までご連絡ください。

配当金のお受取り方法について

配当金のお受取り方法につきましては、便利な**ご指定口座への口座振込**による方法のほか、**証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取り**いただく方法、**ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取り**いただく方法がご利用いただけます。

お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または三井住友信託銀行（特別口座に株式のある株主さま）へお問い合わせください。

第84期 定時株主総会のご報告

2022年6月29日、日本橋三井ホールにて第84期定時株主総会を開催いたしました。

2022年6月29日開催の当社第84期定時株主総会において、次のとおり報告ならびに決議されましたので、ご報告申しあげます。

■報告事項

1. 第84期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第84期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）計算書類報告の件

本件は、上記内容について報告いたしました。

■決議事項

第1号議案　定款の一部変更の件
本件は、原案のとおり承認可決されました。

第2号議案　取締役（監査等委員である取締役を除く。）5名選任の件
本件は、原案のとおり承認可決され、新芝宏之、池田嘉宏、田中充、相澤淳一および早川政博の5氏が選任され、就任いたしました。

第3号議案　補欠の監査等委員である取締役1名選任の件
本件は、原案のとおり承認可決され、河野宏和氏を選任いたしました。

第4号議案　取締役（監査等委員である取締役を除く。）に対する譲渡制限付株式の付与のための報酬決定の件
本件は、原案のとおり承認可決されました。

※詳細は、当社ホームページに掲載しております「招集ご通知」をご参照ください。

役　員

株式会社岡三証券グループ

〈取締役（監査等委員である取締役を除く）〉

取締役社長兼執行役員	新芝宏之
取締役兼副社長執行役員	池田嘉宏
取締役兼副社長執行役員	田中充
取締役兼副社長執行役員	相澤淳一
取締役兼副社長執行役員	早川政博

〈監査等委員である取締役〉

社外取締役	比護正史
社外取締役	永井幹人
社外取締役	宇治原潔

（注）社外取締役3名は、独立役員として金融商品取引所に届け出ております。

〈執行役員（取締役兼務者を除く）〉

専務執行役員	清原俊和
専務執行役員	辻和彦
常務執行役員	渕上貴広
常務執行役員	藤野敦
常務執行役員	松本貴司
常務執行役員	今仲章
常務執行役員	後藤田晋
常務執行役員	大杉茂
執行役員	江越誠
執行役員	豊永聡
執行役員	塩川克史
執行役員	堀野公康
執行役員	西村重郎
執行役員	綿川昌明
執行役員	當野日出樹
執行役員	馬場裕久
執行役員	中野茂弘
執行役員	田中拓

サービス網のご案内（2022年6月29日現在）

株式会社岡三証券グループ

本　社	東京都中央区日本橋1-17-6	03(3272)2222

■グループ会社

岡三証券株式会社

本　店	東京都中央区日本橋1-17-6	03(3272)2211
室町本店	東京都中央区日本橋室町2-2-1　室町東三井ビルディング	03(3272)2211
日本橋室町本店		
本店営業第一部	東京都中央区日本橋室町1-5-5　室町ちぱぎん三井ビルディング	03(4226)3331
本店営業第二部	東京都中央区日本橋室町1-5-5　室町ちぱぎん三井ビルディング	03(4226)3350
本店営業第三部	東京都中央区日本橋室町1-5-5　室町ちぱぎん三井ビルディング	03(4226)3360
ウェルスマネジメント部	東京都中央区日本橋室町2-2-1　室町東三井ビルディング	03(3275)8570
東京中央店		
営業第一部	東京都新宿区西新宿1-6-1	03(3342)2511
営業第二部	東京都新宿区西新宿1-6-1	03(6387)7150
営業第三部	東京都新宿区西新宿1-6-1	03(4526)1188
岡三コンタクトセンター		
	東京都台東区浅草橋1-22-16	03(3272)2211
札幌支店	北海道札幌市中央区北二条西3-1-8	011(251)3455
仙台支店	宮城県仙台市青葉区一番町3-6-1	022(265)1718
勝田支店	茨城県ひたちなか市勝田中央12-15	029(275)3111
大宮支店	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5	048(644)5841
柏支店	千葉県柏市柏2-6-8	04(7163)4311
八千代支店	千葉県八千代市八千代台東1-1-10	047(427)2400
千葉支店	千葉県千葉市中央区富士見1-15-9	043(222)8131
日本橋店	東京都中央区日本橋1-17-6	03(3275)8140
池袋支店	東京都豊島区西池袋1-18-2	03(3983)5151
大森支店	東京都品川区南大井6-28-11	03(3763)3171
八王子支店	東京都八王子市明神町4-7-15	042(645)2211
横浜支店	神奈川県横浜市中区尾上町2-27	045(651)1251
沼津支店	静岡県沼津市大手町2-4-1	055(962)1313
静岡支店	静岡県静岡市葵区御幸町4-1	054(251)1331
浜松支店	静岡県浜松市中区田町324-3	053(456)2161
恵那支店	岐阜県恵那市大井町201-10	0573(25)2111
名古屋支店	愛知県名古屋市中村区名駅4-5-28	052(582)3431
金山支店	愛知県名古屋市中区金山1-11-28	052(321)1551
長久手支店	愛知県長久手市坊の後1422	0561(57)2020
刈谷支店	愛知県刈谷市若松町2-101	0566(21)3232
金沢支店	石川県金沢市南町6-1	076(262)8811
四日市支店	三重県四日市市諏訪栄町20-11	059(353)1131
鈴鹿支店	三重県鈴鹿市西条4-87-2	059(382)1345
津支店	三重県津市中央5-20	059(226)1511
伊賀上野支店	三重県伊賀市上野東町2920	0595(21)5131
名張支店	三重県名張市希央台5番町11	0595(63)1511
松阪支店	三重県松阪市中町6-8-1	0598(21)2552
伊勢支店	三重県伊勢市本町11-1	0596(28)1171
志摩支店	三重県志摩市阿児町鵜方4042	0599(43)5511
尾鷲支店	三重県尾鷲市古戸町12-11	0597(22)1515
京都支店	京都府京都市下京区四条通東洞院東入立売西町66	075(231)7111
宮津支店	京都府宮津市鶴賀2066-69	0772(22)2166
大阪店	大阪府大阪市中央区今橋1-8-7	06(6202)1191
梅田支店	大阪府大阪市北区梅田1-12-17	06(6345)2951
阿倍野支店	大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1-100	06(6631)9331
千里支店	大阪府吹田市津雲台1-2-D9	06(6834)3535
東大阪支店	大阪府東大阪市長堂1-11-22	06(7167)9311
堺支店	大阪府堺市堺区一条通20-1	072(233)5141
藤井寺支店	大阪府藤井寺市岡2-12-6	072(953)5941
奈良支店	奈良県奈良市本子守町1-1	0742(22)4001
和歌山支店	和歌山県和歌山市八番丁11	073(431)1431
神戸支店	兵庫県神戸市中央区三宮町1-1-2	078(392)5656
姫路支店	兵庫県姫路市十二所前町45	079(222)5961
岡山支店	岡山県岡山市北区柳町1-1-27	086(224)5111
玉野支店	岡山県玉野市築港2-4-12	0863(31)1211
広島支店	広島県広島市中区大手町2-8-4	082(241)9511
宇部支店	山口県宇部市相生町9-7	0836(31)1171
松山支店	愛媛県松山市花園町1-3	089(932)2121
宇和島支店	愛媛県宇和島市錦町3-20	0895(22)5711
福岡支店	福岡県福岡市中央区天神1-9-17	092(751)3434
熊本支店	熊本県熊本市中央区新市街11-18	096(325)7111
岡三オンライン証券カンパニー		
	東京都中央区銀座3-9-7	03(3547)0100

（海外拠点）

ニューヨーク駐在員事務所		
	1120 Avenue of the Americas, Suite 1509, New York, NY 10036, U.S.A.	212-764-3580
上海駐在員事務所	中国上海市浦東新区世紀大道100号 上海環球金融中心17階	21-6881-1001

岡三にいがた証券株式会社（新潟県内に他12拠点）
新潟県長岡市大手通1-5-5　0258(35)0290

三晃証券株式会社（東京都内に他2拠点）
東京都中央区日本橋茅場町3-2-2　03(5614)0700

三縁証券株式会社（東海地方を中心に他11拠点）
愛知県名古屋市中村区名駅南1-24-30 名古屋三井ビル本館　052(561)1811

株式会社証券ジャパン（関東地方を中心に他8拠点）
東京都中央区日本橋茅場町1-2-18　03(3668)2210

岡三国際（亜洲）有限公司
香港上環干諾道中111號 永安中心26樓2605-7室　2525-3045

岡三アセットマネジメント株式会社
東京都中央区京橋2-2-1　03(3516)1188

岡三キャピタルパートナーズ株式会社
東京都中央区日本橋本町1-5-4 住友不動産日本橋ビル　03(3275)8195

岡三情報システム株式会社
東京都台東区浅草橋1-22-16　03(6385)8300

岡三ビジネスサービス株式会社
東京都中央区日本橋本町4-11-5　03(6385)8200

岡三興業株式会社
東京都中央区日本橋小網町9-9　03(3665)3500